

令和4年10月19日

全教連代表理事/中建連幹部教授会員、  
菊地長月氏を偲ぶ会

教授会代表幹事挨拶

アルファヴォイスコンサルティング株式会社、全教連会長 若林信孝

菊地長月先生への想い

菊地長月先生は中建連の初期設立メンバーとして、大変、尽力されました。会計面、税務面、さらに中建連の運営全般に関して、助言を頂き、また、様々な実務上のご負担を難なくこなし、今日、私達が安心して研修が進められる土壌を固めて頂きました。ご存命であれば、まだまだ、助けをお借りしたい事項がたくさんございます。その功績には、ただ、感謝しかありません。有難うございました。

病気療養中にも関わらず、クライアント先の企業様へのご指導をオンラインで継続していると伺っておりました。恐らく、近いうちに完全復帰され、以前にもましてご指導に邁進するものだと思っておりました。そして、酒を酌み交わしながら、あなたと盛り上がることを楽しみにしておりました。とても残念です。

菊地先生と初めてお会いしたのはあるクライアント様の宴席の席でしたね。初めてにも拘わらず、昔からの親しい友人のように、気楽にお話して頂きました。

「この日本酒はうまいね」「ここは魚がうまい」とか他愛もない話を延々とさせて頂きました。そのとき、この人は場を盛り上げて、みんなのやる気を引き出すのがうまい人だなと感じました。

実際、菊地先生の指導先は業績が上がっていますよね。財務面、管理面での専門性を駆使し、その企業の利益向上やコスト削減による業績向上に貢献されているだけでなく、社員のモチベーションを挙げている結果だと思います。

先生のクライアント企業様に対する厳しい指導は、定評があります。それは「何としても自分の指導先の業績を上げる」という強い意志と信念、そして愛情によるものです。実際、菊地先生とはご縁もあり、指導先が重なっていました。菊地先生は財務面から、私は営業面からクライアント企業様を支援しましたが、業績アップのポイントは、「トップの経営的センスもさることながら、人格も大事だよ」とか、「中間管理職の意識が変わると会社も変わるよね」とか、そんな話題が付きませんでした。

先生と話していると、指導先の企業様への強い思いがひしひしと伝わります。私も菊地先生から多くのことを学びました。それは「経営幹部の身になって思考しろ」ということでした。

クライアント企業様の経営幹部の皆様によくのファンがいらっしゃるのには本音の繋がりによるものです。「教科書的で一般論に終始した指導ではその企業の問題を解決できない」とおっしゃっていました。その企業個別の問題点を見抜き、詳細に丁寧に指導を継続されていました。その企業の内部に入り込み、経営幹部の方々とともに、また、現場の社員の方々とともに経営改善をされていました。だから、研修嫌いの現場の社員も先生のことをお慕いしたのだと思います。

鋭い現状認識による最適な助言と指導、トップの孤独感に寄り添い、悩みにしっかりと応えるやさしさ、人が主体的に動くようにしむける組織集団への強い影響力、それでいながら、ユーモアやジョークのセンスに溢れ、笑いを取るお茶目な一面、場を盛り上げるエンタメ性、など、類まれな才能と人格の持ち主が逝去されたこと、建設業界にとっては大きな痛手です。

「建設業界を変えて日本を元気にするんだ」というあなたの志は、私達、中建連の教授会員、協業会員そして全国の組合員がしっかりと引き継ぐ所存でございます。どうか安らかにお休みください。本当にご苦労様でした。そして、有難うございました。

(以上)